

1 学年「職業演習（清掃）」年間指導計画

1 ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ○働く喜びや充実感を味わう。 ○清掃用具を正しく使い、手順を守ってスムーズに清掃作業を行うことができる。 ○相手を意識し仕事に取り組むことができる。 ○与えられた仕事の意義を理解し、場にふさわしい態度で取り組む力を身に付けることができる。
2 指導の構想	○企業就労において、清掃はどの業種でも行われるため、清掃の意義、方法を知るとともに、実際の経験を重ねることを目的とする。また、「お客様」や「職場」といった他者の「場」を清掃することを想定し、「場」にふさわしい態度を身に付けることも目的とする。
3 教師が行う支援（配慮事項）	<ul style="list-style-type: none"> ○講師や上級生による手本、外部講師による実演を取り入れ、生徒が見て学べるようにする。 ○客観的な自己評価ができるよう、作業中の動画録画を活用するなど、振り返りの工夫を行う。 ○実際の経験を多く積めるよう、校内校外ともに実際の清掃をする場面を設定する。
4 評価（観点、場面、方法）	<ul style="list-style-type: none"> ・観点：態度（あいさつ、姿勢、身だしなみ、言葉遣い）、丁寧（手順、用具の扱い）、時間（手際、能率、速さ、時間厳守）、協力 ・場面：実技中、実技直後、授業最後 ・方法：評価表による自己評価、教師評価、生徒同士評価、動画撮影による自己チェック

月	回	単元名	主な学習内容・学習活動	内容表との関連	
5月 1月	1	オリエンテーション	学期の学習計画、清掃の心得、清掃ステーションの用具の確認		
	2	外部講師の講義 清掃実技の基礎	講義の事前学習（聴く態度、講師を迎える準備分担）		
	3		清掃業務の心構え、清掃用具の使い方（自在ぼうき、ダスタークロス、水モップ）		
	4		外部講師から教えていただいたことの確認と実技練習		
	5		廊下清掃（自在ぼうき、文化ちりとり、ダスタークロス、水モップ）		
6	昨年度の江南区役所実習の写真を見る、日程、交通手段、挨拶係の確認				
6月 2月	7	外部講師の講義 清掃実技の基礎	江南区役所清掃実習1回目（ダスタークロス、自在ぼうき、文化ちりとり、水モップによる廊下や階段の清掃、通行者への挨拶や配慮）		
	8		1回目実習で講師から教えていただいたことの確認（写真、動画）と実技練習		
	9		江南区役所清掃実習2回目（掃除機によるカーペット清掃、スクイジーによる窓清掃、通行者への挨拶や配慮）		
	10		2回目実習で講師から教えていただいたことの確認（写真、動画）と実技練習	豊-③	
	11		外部講師や江南区役所総務課へのお礼状を書く	豊-④	
	12		清掃実技の基礎	机・テーブルの拭き方	家労-②
	13			窓清掃	コ-①
	14			スクイジーの使い方	コ-②
	15			ダスタークロスの廊下清掃	
	16			市役所障害福祉課からの委託事務業務（チラシの折り方、パンフレットのシール貼り）、封筒の作り方、ゴム印の押し方、製本の仕方	
	7月 3月		17	清掃実技の基礎	教室・階段の自在ぼうき清掃
18		教室・廊下・階段の水モップ清掃			
19					
20					
21		まとめ	学期の振り返り		

特記事項

1学期：南グループ、3学期：江グループ
 用具や使用場所について2学年や3学年と調整する。

1 学年「職業演習（流通）」年間指導計画

1	ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ○働く喜びや充実感を味わう。 ○流通の仕組みを知り、基礎的・基本的な知識・技能を身に付けることができる。 ○正確さや適切な速さを意識して作業に取り組む力を身に付けることができる。 ○ペアやチームで話し合い、効率よく作業をすることができる。
2	指導の構想	<ul style="list-style-type: none"> ○職業演習への見通しをもつことができるように、4月～5月中旬にかけて、1年生全体で「就労オリエンテーション」を設定する。学習の評価を基に、学習グループの編成を行う。 ○流通ステーションでの品出しや接客、シーラー・パッカーなどの作業的学習、事務作業を組み合わせながら、実際の現場に近い形での学習ができるようにする。 ○流通についての仕組みを知ると共に、企画から販売までを経験することで働く喜びや厳しさ、充実感を味わえるようにする。 ○7月（江グループ）、12月（南グループ）に半日×2日程度の職場実習を設定する。校内で身に付けた技能・態度を生かして取り組むことができるようにする。 ○11月後半（南グループ）では、異学年の学び合いをねらいの一つとして縦割りグループでの学習活動を設定する。
3	教師が行う支援（配慮事項）	<ul style="list-style-type: none"> ○作業環境を構造化して、集中して作業に取り組み続けることができる環境づくりをする。 ○生徒が自己評価しやすいように、授業の導入で活動のねらいや目標を提示する。 ○「できた」「できない」が分かりやすいように、作業の基準を写真や実物で示す。
4	目標	○個別の指導計画（前・後期）において、授業担当者及び担任が設定する。
5	評価（観点、場面、方法）	<p>〈観点〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○態度（あいさつ、姿勢、身だしなみ等） ○丁寧（方法、用具の扱い等） ○時間（手際の良さ、能率、速さ、時間厳守） <p>〈場面、方法〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○流通種ごとの評価表を評価基準とした自己評価及び教師による評価、生徒同士による評価。 ○授業内、適宜作業時の動画チェックによる評価。 ○職業技能検定での評価、企業見学会等による外部評価。

月	回	単元名	主な学習内容・学習活動	内容表との関連
4	1～2	全員 就労オリエンテーション	オリエンテーション、心構え	
	3～6		2・3年生授業見学（事前学習、見学、事後学習）	
	7～18		演習体験	
	19・20		＜清掃、流通、事務、介護、接客＞各2回ずつ 就労オリテのまとめ	
6	1	江グループ オリエンテーション 正確に仕事をしよう 流通の仕事に取り組もう 職場実習から学ぼう まとめ	オリエンテーション、身だしなみ、心構え、働く力	
	2～5		メモの取り方 計数、計量	
	6～19		在庫管理・運搬 品出し 包装（シーラー、パッカー）	
	20～29		職場実習（事前学習、職場実習、事後学習） ふり返り、礼状書き	
	30		流通ステーション清掃・振り返り・まとめ	
9	1	南グループ オリエンテーション 正確に仕事をしよう 流通の仕事に取り組もう 3学年縦割りグループ学習 職場実習から学ぼう まとめ	オリエンテーション、身だしなみ、心構え、働く力	コ-① コ-②
	2～5		メモの取り方 計数、計量	
	6～19		各学年の流通担当がMTとなって、「農業（苗植え）」「事務作業」「販売活動」「品出し・前出し」「シーラー・パッカー」等を行う 3学年縦割りの3つのグループに別れて活動を行う 働く上での基本的な態度、挨拶、返事、報告などを始め、決められた時間黙々と作業に取り組むための継続力、集中力を高める	
	20～29		職場実習（事前学習、職場実習、事後学習） ふり返り、礼状書き	
	30		振り返り、まとめ	
	12			

特記事項

○事務作業は、新潟市役所等からの業務依頼を取り扱うこともある。
H31年度は、新潟市文化・スポーツコミッションから袋詰め作業の依頼、
新潟市役所からオレンジリボンの作成、紙折り・ポケットティッシュへの封入などの作業依頼があった。
依頼がある場合は、担当者（新潟市役所：本間様 新潟市文化スポーツコミッション協会：星様）から連絡が入る。

1 学年 「職業演習（介護）」 年間指導計画

1 ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ○体験的な活動を通して、働く喜びや充実感を味わわせる。 ○福祉の理念や基礎的・基本的な知識・技能を育む。 ○相手の立場に立って考え、気配りする気持ちを育む。
2 指導の構想	<ul style="list-style-type: none"> ○福祉の理念とは「人間らしく生きること」「生活すること」を保障することである。この理念や介護の心得を「理解する」ためには、相手の現状を「知る」ことから始まるものとする。「高齢者疑似体験」や「高齢者と介助者を役割交代しての演習」等を通して、経験的に学べるようにする。 ○1年時は「2年時の実習で行うであろう仕事」を知る、2年時は手順やポイント等を「何のために行うのか」という視点からおさえる、3年時は「相手の立場を考えた工夫、気配り」や「下級生へのアドバイス」等を行い、社会に出て役立つ「相手を思いやる言動」を身に付ける、ようにする。
3 到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ○用具を適切に扱い、怪我や事故のないよう自分や周囲の安全に気を付けて活動を行うことができる。 ○相手の立場に立った考え方や適切な言動について理解を深め、実践することができる。
4 教師が行う支援（配慮事項）	<ul style="list-style-type: none"> ○身体接触を伴うような介助場面では、男女を分けたり事前に注意喚起をしたりして、ふざけや事故につながらないようにする。 ○介助される側の気持ちを重視し、気持ちを代弁したり介助者の適切な言動を示したりして、即時のフィードバックができるようにする。 ○介護職に就労した卒業生をゲストティーチャーとして来校依頼し、専門的なところを教えてもらう。 ○可能であれば、5、6組とのコミュニケーションやお手伝い等の交流の場を設ける。
5 評価（観点、場面、方法）	<p><車いす><ベッドメイキング><たたみ><お茶出し><ドライバー></p> <ul style="list-style-type: none"> ・チェックシートやポイント表等を使用し、気をつける点を明らかにして取り組むことができたか。 <p><レクリエーション><コミュニケーション><交流></p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前指導で気をつける点を明らかにして取り組むことができたか。 ・振り返りの時間に、自分やほかの生徒の考えを聞き、考えを深めたか。 <p><職場実習></p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習日誌を具体的に記入することができたか。実習先からのコメントを基に行動を改善することができたか。

回	単元名	主な学習内容・学習活動	内容表との関連
1	オリエンテーション	オリエンテーション	
2		高齢者の特徴と介護の仕事の心得	
3	介護の知識・技能を身に付けよう	①高齢者疑似体験	
4		②視覚障害者体験	
5		③車いす演習	
6		④ベッドメイキング（※3年生と合同）	
7		⑤生活介助演習	
8		⑥ドライバー演習	
9		⑦コミュニケーション演習	
10		⑧レクリエーション演習	
9	職場見学・職場実習	<職場見学／職場実習>	
10		・職場見学事前学習（1、2学期：かめだ本町の里）	
11		身だしなみ、質問事項検討等	
12		・職場見学事後学習、礼状	
13		・向陽の里事前学習	
14		身だしなみ、心構え、コミュニケーション等	
15		・向陽の里実習1回（2グループに分けて実施）	
16		・向陽の里実習振り返り、礼状	
17		・かめだ本町の里事前学習	
18	身だしなみ、心構え、コミュニケーション等		
19	・かめだ本町の里実習（2グループに分けて実施）		
20	・かめだ本町の里実習振り返り、礼状		
19	高齢者との交流	<交流会>	
20		・地域の高齢者との交流（※3年生と合同）	
21		・事前指導	
22		団体に関する情報、身だしなみ、心構え、コミュニケーション等（⑦⑧と関連）	
23		・交流会	
24		・ふりかえり、礼状	
25	事務	<事務>	
26		・業務依頼（洗濯、長期休業中の生活記録表作成等）	
27		・コピー機の操作（大きさ、枚数、片面、両面）	
28		・用紙数え、綴じ、シュレッダー、ゴム印押し	
29		・封筒作り（はさみ、のり、裁断機）	
30	まとめ	<まとめ>	

豊一③
 日一③
 日一④
 健一④
 家労一②
 コ一①
 コ一②

特記事項

※江グループは1学期、南グループは2学期に演習を行う。
 ※学習内容は順不同。まず、1学年の実習の日程を決め、1、3学年合同で行う交流の日程を決める。その後、各学年の計画を立てる。
 ※介護ステーションは3学年中心で使用し、活動内容に応じて譲り合う。用具を使用する活動はかぶらないよう配慮する。
 ※生徒の実態に応じて、学年での内容や回数が前後しても構わない。
 ※インフルエンザ等の感染症の予防に注意する。（予防接種未接種の人は、外部に出るときは要相談。）

